

第3回福島問題予備研究会 議事録（案）

日時：平成27年3月3日(水)15:00～17:30

場所：化学工学会 会議室

出席者：小林，橋本，鈴木，郷，中尾，松井，横堀，戸井田（記録） （敬称略順不同）

討議資料

- #3-1 第1回化学工学会-IRID 意見交換会メモ （小林氏より事前送付）
- #3-2 福島第一廃炉・汚染水対策の役割分担表 小林氏
- #3-3 第3回福島問題予備研究会 討議用メモ 横堀氏

議事内容：

1. IRID との打ち合わせ報告（資料#3-1）
 - ・化学工学会とSCE-NETの紹介
 - ・IRID 活動状況の紹介
 - ・IRID はRD を行う組織である。
 - ・主にデブリの取り出しとその後の処理を担当している。
 - ・汚染水処理は資源エネルギー庁の監督下で東京電力が担当。
2. IRID との面談に関わる報告についての議論
 - ・化学工学会で対応可能なのは汚染水と土壌の汚染処理。
研究会では汚染水処理（アルプスを中心とするシステム）についての現状把握、問題認識、今後の課題（技術的の問題にこだわらず）について調査を行う。
3. アルプスの現状についての報告（橋本氏より）
 - ・吸着剤の評価データの解析：詳細省略
4. 今後の活動テーマ
 - ・廃炉学会を設立活動に参画する。現在、福井大、大阪、京都大学、名古屋大、東工大、東北大が廃炉に関する学科（？）設立の動き
 - ・ルテニウム、アンチモンの良い吸着剤が無いので、新規吸着剤の開発を行う。
 - ・低濃度と高濃度での吸着挙動が同じかについて基礎的な研究を行う。
5. その他（今後の予定）
 - 次回より本研究会の世話役が小林氏より横堀氏に交代する
 - 3月19日 福島問題委員会開催予定
 - 3月20日 震災復興と学協会連携シンポジウム

以上

議事録ではありませんが

1. 400t (1日分)の水を電気分解するのに必要なエネルギーは 2628.4 GJ/400t =730MWh/400t です。この電気代は 10円/kWh としても 26.65 億円/年ですから水電解装置のランニングコストは決して高くありません。

2. 試料中の核種の同定と定量は通常試料から放出される γ 線をゲルマニウム(Ge)半導体検出器で測定し、ピークの位置 (エネルギー) から核種を、ピークの面積から量を求めます。下図はゲルマニウム(Ge)半導体検出器での測定例です。

